作成日　2017年9月8日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	フラワーアクアリウムオイル
会社名	株式会社 アミファ
住　所	〒107-0061　東京都港区北青山2丁目13-5　青山サンクレストビル3F
部門名	営業部 商品開発室
電話番号	03-5785-2390
FAX番号	03-6439-1900
緊急連絡先	03-5785-3910
整理番号	00015472

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性		:
健康に対する有害性		:
環境に対する有害性		:
		※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外、区分外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル		該当なし
注意喚起語		該当なし
危険有害性情報		該当なし
注意書き	【予防策】	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 容器を密閉しておくこと。 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。 ミスト、蒸気を吸入しないこと。 環境への放出を避けること。
	【対応】	吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師の診断、手当てを受けること。 皮膚に付着した場合：水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師の診断、手当てを受けること。
	【保管】	容器を密閉して涼しい所、換気の良い場所で施錠して保管すること。
	【廃棄】	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	単一製品
化学名	白色鉱油（石油）（流動パラフィン）

成 分	CAS番号	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	EINECS番号	含有量
白色鉱油（石油）（流動パラフィン）	8042－47－5	9－1692	232－455－8	100%

4. 応急措置	
吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。保温して安静に保つ。速やかに医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	付着した衣服、靴を脱ぎ、付着部を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	清浄な水で最低15分間以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師の診断、手当てを受けること。
5. 火災時の措置	
消火剤	霧状の強化液、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤が有効
使ってはならない消火剤	棒状放水（火が飛び散り、広がる恐れがある。）
特有の危険有害性	不完全燃焼により一酸化炭素や有機ガスなどの複合混合物が生成するおそれがある。
消火を行う者の保護	消火作業の際には有毒なガスを吸い込まないように呼吸保護具を着用し、風上から消火作業を行う。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	曝露防止のため、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。 漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 付近の着火源を取り除き、消火機材を準備する。
環境に対する注意事項	下水道や水路、あるいは水の他容器へ製品が流入することを防ぐこと。
封じ込め及び浄化方法・機材	土砂，ウエス等で流出した製品を吸着すること。 回収した製品や他の汚染された物質はリサイクルや再生利用あるいは安全処分のための適当なタンクや容器へ移すこと。 土壌汚染が起こった場合、地方自治体の規則に従って処置や処分のために汚染された土壌を取り除くこと。 閉鎖された水域（たとえば港）での少量の流出の場合、浮遊ゲートあるいは他装置で製品を封じ込める。また流出した製品を特定の浮遊吸着剤で集めること。 開放された水域における多量の流出の場合、可能であれば浮遊ゲートあるいは他機械的な手段により封じ込めるべきである。不可能ならば、流出の拡大を抑え、すくい取るか、あるいは適当な機械的な手段により集めること。 再利用や安全処分のための適当なタンクあるいは容器に、取り集めた製品や他の物質を集めること。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	静電気放電に対する予防措置を講ずること。 熱した液状の製品を取り扱うときは、容積と分量の充填で飛沫を避けること。 皮膚への接触は避けること。ヒューム/ミストの吸入を避けること。 滑って転倒する危険性をあらかじめ防ぐこと。 必要な個人用保護具を使用すること。 禁煙。
局所排気・全体換気	必要に応じて、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取り扱う。
注意事項	火気厳禁。
安全取扱い注意事項	曝露防止のため、保護具を着用して作業を行う。蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。作業場の換気を十分行なう。
保管	
適切な保管条件	熱、火花のような着火源及び静電気蓄積を避けて保管すること。 直射日光を避け、換気の良い場所で容器を密閉し保管する。
安全な容器包装材料	金属又はガラス容器を使用すること。 樹脂容器の場合、種類のより溶解することがある。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
許容濃度	
日本産業衛生学会	3mg/㎥（鉱油ミスト）
ACGIH	TLV/TWA ：5mg/㎥（鉱油ミスト） TLV/STEL：10mg/㎥（鉱油ミスト）
保護具	
呼吸の保護具	通常、特別な保護具を必要としないが、必要により適切なマスクを着用する。
手の保護具	直接手に触れないよう、耐油性など適切な手袋を着用する。
目の保護具	標準的な工業用保護眼鏡を使用すべきである。
皮膚及び身体の保護具	耐油性作業衣。
適切な衛生対策	作業中は飲食、喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	
形状	液体
色	無色透明
臭い	特異臭
pH	データなし
融点／凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	250℃以上（COC）
発火点	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重	0.8560（15℃）
溶解性 水溶解性	水に僅かに可溶
オクタノール／水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	66～70cSt（40℃）

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の温度及び圧力下では安定。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	過剰の熱。
混蝕危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	LC50＞5000mg/kg。
急性毒性（経皮）	LC50＞5000mg/kg。
急性毒性（吸入）	LC50＞5.0mg/L。
皮膚腐食性/刺激性	ウサギやヒトの皮膚では軽度の刺激、あるいは刺激はみられなかった。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	刺激性なし。
呼吸器感作性	当該物質では呼吸器感作性を引き起こす要因はないとされる。
皮膚感作性	当該物質では皮膚感作性はないとされる。
生殖細胞変異原性	当該物質では変異原性はないとされる。
発がん性	IP346法によるDMSO抽出量は当該物質では3%未満である。 従って発がん物質として分類されない。
生殖毒性	NOAEL（発生毒性）＞2000mg/kg 当該物質は生殖機能に作用しないとされる。
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	データがなく分類できない。
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）	データがなく分類できない。
吸引性呼吸器有害性	データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	無脊椎動物	EL50＞10,000mg/l
	藻類	NOEL＞100mg/l
	魚類	LL50＞100mg/l
水生環境有害性（慢性）	無脊椎動物	NOEL＞10mg/l
	魚類	NOEL＞10mg/l
環境運命	当該物質は油流出以外の環境問題を保有していないとされる。	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規定	
国連番号	該当しない。
国内規制	
陸上	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上	船舶安全法、港則法等に定められている運送方法に従う。
航空	航空法等に定められている運送方法に従う。
注意事項	運搬に関しては容器漏れのない事を確かめ、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

15. 適用法令

化学物質管理促進法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
消防法	非危険物　指定可燃剤（可燃性液体）
毒物及び劇物取締法	該当しない

16. その他の情報

① 危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意してください。

② この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。

③ 本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱って下さい。

④ ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。